



やあ!特集

外国人ネットワーク “在日タイ人ネットワーク”

とちぎでくらして…
インタビュー

県国際交流員 于 塁さん(中国)

栃木県通訳案内士

吉田尚実さん(佐野市在住)

フィリピン料理「スイートバナナ」

エルサルバドル 森戸泰光さん

「栃木県から世界へと出発しました!」

世界のお祭り

～スペイン編～

セビーリャの春祭り (La Feria de Abril)



スペインの三大祭りに数えられるのが写真のセビーリャの春祭り (La Feria de Abril) です。もともとは、「牧畜市」の関係者が、家族と共に滞在するため、市場近くにテントを張り、そのときに、飲み食いをしたということに由来します。毎年4月下旬に行われ、昼間に行われるパレードでは、華麗な民族衣装をまとった人々が馬車や馬に乗って練り歩きます。このときは、馬車や馬での入場も許可されています。また、午後は、闘牛も行われます。このお祭りの期間中は、「カセタ」と呼ばれるテント小屋も出て、にぎやかで華やかなバザールが開かれます。人々は一晩中、飲んだり、食べたり、セビリヤーナスと呼ばれるフラメンコに似た踊りを老若男女問わず、踊り明かし、楽しめます。スペインで最も華やかで美しいと言われているお祭りです。（写真提供／スペイン政府観光局）

于 艜 さん (27歳)
YU YING



プロフィール

中国・浙江省寧波市出身。寧波市外事弁公室で日本語の通訳・翻訳等の業務に携わっている。今年の4月から栃木県産業労働観光部国際課で国際交流員として来県、1年間、本県に滞在し、活躍予定。

—于さん、はじめまして。日本語が既にお上手ですが、いつから日本語を学び始めたのですか？

于 こちらこそ、はじめて！私が日本語を学び始めたのは大学からなんです。実は、北京にある北京外国语大学で日本語専攻していたんですよ。日本語を勉強し始めた当時はあいえおもわからない状態で、高校時代日本語を勉強した人との日本語レベルはまったく比較にならないものでした。私が0歳児くらいに対して彼らは小学生くらいの開きがありましたから。私が日本語を選んだ理由は、日本のアニメの「名探偵コナン」が大好きで、いつかそのアニメを日本語で見たいと思ったからなんですよ。

—なるほど。于さんは日本のアニメが好きなんですね。日本へ来るのは初めてですか？

于 はい、日本のアニメや漫画は大好きです。日本では、映画館でも劇場版の「名探偵コナン」が公開になると聞いて、日本に来るのを楽しみにしてたのも一つの理由です（笑）。日本へ来るのは初めてではないんです。日本、韓国、東南アジアへ旅行したことがあります。それと、大学を卒業した後、大学院の修士課程に進み、3年次には、フィールドスタディというこ



▲学生時代の于さん

とで半年間、日本に行く機会を得、東大、京大の法学部や人文科学部で聴講したりしました。ですから今回で3回目となります。大学院の修士課程卒業後は、現職の寧波市外事弁公室に入り、具体的には、友好都市関係の仕事に従事し、寧波市と友好関係のある京都府の長岡京市からの訪問団の受入、主に中学生の交流団のホームステイなど青少年育成にかかる仕事や市政府からの通訳、翻訳等を行っていました。

—かなり、日本もお詳しい様ですね。栃木県の印象はいかがですか？

于 今までの来日目的は、旅行だったり、学生だったりでしたので、仕事での滞在は初めての経験となります。栃木というとやはりイチゴが有名ですね。実は寧波もイチゴの産地なんです。また、栃木県は緑も多く、温泉もあっていい所だと思います。東京からも近く、交通の便もいいと思います。今でも忘れない思い出があります。それは以前、日光に日帰りで、来たことがあるのですが、そのとき温泉に行き、帰りの終電に乗るバスに間にあわなくなったら、ホテルの人が駅まで送ってくれたのです。あの時は本当にうれしかったです。友達と日光の人は親切だとつくづく痛感したことがあります。今回もまた日光を訪ねたいと思います。やはり有名な観光地が多いことは栃木県の魅力だと思います。

—最後に、今後の抱負を聞かせてください。

于 私は、趣味が旅行なので、栃木県以外にも旅行してみたいと思います。一番行ってみたいところは北海道で、特にラベンダーが咲いているときに行ってみたいと思います。あと、大阪にも行ってみたいですね。それから、料理を作るのが好きで、特に卵料理が得意なので、ぜひ中国の料理教室を開いてみたいです。また、栃木県の皆さんに中国の面白いところ、みんなの知らない中国文化的魅力や知りたいと思っていることを伝えたいです。また、1年間栃木県内に滞在するので、県内で行われるイベントなどにも数多く参加したいと思っています。そして、様々なイベントを通じて、たくさんの人と出会いたいと思ってます。また、せっかく栃木県に機会があつることになったので、栃木の文化も体験したいと思っています。それから、子どもたちとの交流とかも好きなので、もしできたら、中国の遊びとかいろいろなことを子どもたちに教えてあげられたらなあと思っています。

世界をペロリ

このコーナーでは世界のおいしい食べ物をレシピ付きで紹介します。

フィリピン料理 「スイートバナナ」 SWEET BANANAS

材料(3人分)：

バナナ	3個 (半分ずつ切って1個半でも可)
春巻きの皮	3枚
サラダ油	2/1カップ
ホイップクリーム	少々
グラニュー糖	少々
チョコレートソラップ	(好みで)



今回、料理を作ってくれたのは、
フィリピン出身のフクダ・ジエラル
デイン・パルバさん。フィリピンで親
しまれてる「スイートバナナ」を紹
介します。



▲子どもにも喜ばれる「スイートバナナ」



①バナナの皮をむき、縦に2つに切ります。



②①のバナナを春巻きの皮で写真のように巻く。



③フライパンを熱し、多めに油をひき、キツネ色に焦げ目がつくまで②のバナナをかりかりに焼き、火を止めて、グラニュー糖をふりかけ、飴状になればOK。



④できあがったバナナを皿に並べて、ホイップクリームをかけて完成。(好みでチョコレートソラップをかけると更に美味。)



栃木県通訳案内士協会中国語通訳案内士 吉田 尚実さん(佐野市在住)

今回は、平成20年度から栃木県でも行われることになった地域限定の通訳案内士の資格試験に見事合格された吉田尚実さんにこの試験の概要や今後の展望についてインタビューしました。

—合格おめでとうございます。試験を受けるきっかけは何ですか。
吉田 ありがとうございます。わたしがこの試験を受けようと思ったのは、たまたま家で新聞を見ていたとき、地域限定通訳案内士試験が行われるという県の広報がありました。思わず受けみようかなと思い早速応募しました。しかし、漠然と試験を受けるといつても難しく、実際どこから手をつけたらいいのかわかりませんでした。募集要項をもらいに行ったり、参考書を紹介されました。「栃木県の歴史散歩」「とちぎのまるわかり観光ガイド」、それと「とちぎの現代社会」です。まずはこれを熟読することにしました。

—はじめての試みの試験を受けるというのはかなり抵抗があるのでないですか？

吉田 その通りです。紹介されたテキストもデータばかりで、難解でした。事前に一度説明会のようなものがあり、観光課の方が説明してくれたのですが、初めての試験ですので傾向と対策がわからず、私自身皆目検討もつきませんでした。試験科目は、一次試験が、地理、歴史、政治経済および外国语の筆記試験、2次試験は口答試験及び面接試験でした。口答試験は前半は中国語での質問に中国語で答え、後半は日本語の質問に対して日本語で答えるという2種類のものでした。中国語に関しては、父親の仕事の関係で17歳まで台湾に住んでいた現地の学校で勉強していたので特に問題がないと思い、その他の科目に力をいれることにしました。

私のとった勉強方法は、日本の受験生がよく行う、ポイントをノートに書き写し、専門用語の意味を調べたりする方法でした。それから、どこから出題される



▲試験のために勧められた3冊のテキスト

～栃木県通訳案内士に聞きました～

かわからなかつたので、補足的な予備知識を得るために、図書館に行って調べたりもしました。私の場合、日本の中学校で勉強したことがなかったので、半年前くらいから小学生用の歴史等の書籍を購入して、古墳時代の勉強から始めました。また、政治経済については、とちぎテレビの県政ニュースを見たりして理解するようにしました。もともとあまり行政改革などについての知識がなかったので、ニュースをみても理解できない言葉も多く、その言葉を書き留めて図書館で調べたり、地元の新聞も活用しました。また人名や数字等も覚えるのは大変だったので、年表を作ったり、写真を貼って覚えたりしました。また合格した場合のことでも考えて、実際に案内するときに必要なではないかと思い、観光地などに自分の足で歩いて写真を撮ったり、由来や様子などを脳裏に焼き付けました。これが功を奏したかは分かりませんが、3名の合格者のうちに入りました。

—今後、受験する方への必勝法、アドバイスがあったら教えてください。

吉田 とにかくたくさんの知識を身につけてほしいと思います。それから歴史、地理等たくさんの本を読んでください。私は民話まで読みました。また、紹介されたテキストのデータを元に白地図を自分で作り、工業団地や県内の製造業、農業、工芸品等を書き込みながら覚えてください。また、2次試験の口答試験では、今後の方針について質問されたり、条件に合わせてプラン作りを外国语で質問されます。とにかく明るく、はきはきと答えるのがいいと思います。ぜひみなさん頑張ってください。

平成21年度栃木県地域限定通訳案内士試験

日時：平成21年8／30（日）外国语、10／4（日）栃木県の地理・歴史・産業・経済・政治・文化
場所：栃木県総合文化センター 応募：5／25（月）～6／26（金）
詳しくは県観光交流課 TEL 028-623-3210まで
※県HPから願書をダウンロードできます

相談員・通訳協力者研修会

を与えるのが責務」とアドバイス。多くの具体例を挙げて説明する講師の話に、多くの参加者は耳を傾けていた。

また、通訳、翻訳が必要となる場合、日本語の意味を直接翻訳するのではなく、外国人に分かるように意味を説明してあげるほうが重要とも発言。たとえば、日本でよく使用されている「生活保護」という単語は、そのまま直接意味を翻訳するのではなく、「最低限生活するための保証金」と翻訳するのが適切とも話した。多くの翻訳に携わっている参加者らは、実体験と照らし合わせ、納得しているような様子であった。また研修会では、自立するための支援や派遣切り等の不況や経済危機での相談窓口の支援についての話もされ、何をどのように対応すべきかという観点から、相談員の「役割と任務」の限界を自覚して取り組み、冷静に適切なアドバイスを提供する必要性、また、行政や社会の限界も伝えるべきだと強調した。

最後に行ったアンケートでは、多くの参加者が何かしら外国人と接触する業務を行っている方が多く、『今回の研修会で支援というものの一面がわかった』『今後、外国人特に南米諸国からの人が来たとき、どのように対応していくべきかの定義、また南米諸国のおかれている状況や彼らの考え方もよく理解できた』との感想があった。また、医療通訳支援、外国人子弟の教育問題等の支援方法、具体例を聞きたかったとの意見もあった。



▲吉田さんが受験勉強のために作成したノート

レポート Report

「どこまでやるの?!外国人相談～相談者、相談員、通訳、それぞれの言い分～」

平成21年3月14日(土)にイデア・ネットワーク代表で通訳、翻訳業のかたわら大学でも講師をされているアルベルト松本氏を講師に相談員・通訳協力者研修会を行った。この研修会の参加者は35名。冒頭で講師は、90年代に南米諸国から日系就労者が入国し、95年には25万人、2003年には39万人と増加傾向にあり、地方に住む外国人も少なくない。こうした環境の中、外国人の抱える問題も社会の変化に合わせ、多種多様化している。また、南米諸国では、自分の意見を主張しない限り取り合ってもらえないということが多いため、意見を主張する外国人も多い。こうした中、「内国際化」いわゆる出稼ぎで来た人達が移民(定住化)を求める傾向もあるという。今回の研修会では、



▲熱心に講師の話を耳を傾ける参加者たち



▲講師のアルベルト松本氏

特集 外国人ネットワーク ～TNJ 在日タイ人ネットワーク～

Thai Network in Japan



「在日タイ人ネットワーク」(TNJ) 栃木県支部代表を務めるラタナポン・タナノンさん。「デック・タイグループ」という団体でも代表として活動中。

目的と活動内容は？

このTNJの目的には、在日タイ人への非営利活動への支援があります。これに對して私たちは、バックアップをするという活動をしています。日本で日常生活を送る上では病気やストレ



▲TNJセミナー風景

スなどから発生する健康面での問題、タイとの教育制度等の違いから学校との多様化したトラブルが発生し、解決できなくなっています。こうした問題を解決すべき知識の普及にも力を注いでいます。また日本とタイの往来が盛んになるにつれてタイ人で組織されるボランティアグループや協力団体の活動も盛んになってきています。これにともない、政府関係機関や市民団体との連携も必要不可欠になってきています。その橋渡しをわたしたちが行っているような形です。また、日本国内でのタイの歴史ある伝統と文化の普及活動や支援のために、さまざまな日本のイベントに参加したり、文化講座を開いたりしています。またTNJでは各種教育、健康促進セミナー等の開催も行っています。各地域のTNJが移動相談会を開いたりもしています。またタイ人が必要な日本の法律（入管法）講座の開催や毎年、代々木公園等で行われているタイフェスティバルへの参加、そして地方で行われている移動大使館への協力、サポートも行っています。今後も日本の道徳や法律を尊重しながら、在日タイ人コミュニティーを強固にしていくための支援活動や彼らコミュニティーがオリジナルの活動を行っていくための様々なサポートを行い、裾野を広げていく予定です。



▲TNJセミナーの質疑応答



▲TNJ研修会にて



栃木県内における活動

TNJ自体は全国組織の名称ですが、タイ人の多い集住地域をメインに拠点を設けています。私たちが住んでいる栃木県にも支部があります。TNJは在日タイ人ネットワークと呼んでいるようにその地域に支部があり、その地域との協力連携のネットワークなのです。栃木県で相談を受け、仮に解決できなかった場合は、近隣地域の茨城県へ問い合わせて解決したりすることができます。また、TNJではパソコンのメールを使ったグループメールも立ち上げていますので、似たような事例があれば、その時の解決方法をアドバイスとして教えてもらい、参考にしながら解決するということもできます。このグループメールは地域ごとに区分しているので、北関東或いは南関東といったエリア内で照会をかけたりすることも可能です。これにより瞬時にいろいろな情報交換ができるようになりました。栃木県支部では、栃木県内の地域情報もグループメールで行っていて、地域の活動をネットを通じて伝えています。県内で行われるセミナーやイベントの情報も知ることができます。また、近隣地域同士の会議も2~3ヶ月に一回開いたりしています。これにはグループメールなどではなかなかできない実際の相談の具体例などを知りえたり、お互い持っている情報の共有化、情報交換などが行えるいい機会です。また東京の代々木公園で毎年5月に行われる「タイフェスティバル」のような特別な行事がある時には、頻繁に会議を行ったりしています。TNJは誰でも会員になれるシステムで特にこれといった厳しい条件はなく、在日タイ人のほか、タイの交流に興味のある日本人の方でもグループサイト内のアプリケーションに記入を行えば会員になれるシステムです。地域性を重視したネットワークなので様々な身近な情報を知り得ることもでき、また、自ら参加できるようなことも目指しています。

年会費は1000円で、多くの運営費は、東京の駐日タイ王国大使館から、移動大使館を実施する際の報酬や「タイフ

エスティバル」や県内のイベント等での収益をTNJの運営費に当てています。今年は、10月3日に行われるTIA主催の「とちぎインターナショナルフェスティバル」ぜひ出展したいと考えています。

また、6月28日日曜日にはとちぎ国際交流センターで駐日タイ王国大使館の移動大使館を開く予定です。この日は、わたしたちTNJが全面協力するつもりです。当日は普段は東京の大使館まで足を運ばなければならないパスポートの更新、各種届出の手続きなどが行えます。



▲タイフェスティバルTNJ参加風景

今後のTNJの展望

現在のTNJは、以前に比べ会員も増え、活動もバラエティーに富んできました。TNJ自身は、非営利のボランティア組織ですので、今後もボランティア活動には今まで以上に力を入れていきたいと考えています。今後もイベントへの参加を行っていく予定ですが、現在もJICA国際協力機構とも関係しながら、タイ人の情報交換、特にHIV関連のセミナーも行っていますが、さらに強化しながら、多方面における協力活動にも手を広げていきたいと考えています。また、わたしが代表を務めている「デックタイグループ」があります。当初は在日のタイ人の子どもたちへのタイ語教育から「デックタイクラス」ということでタイ語教室を始めたのですが、そこから発展して在日のタイ人たちがボランティア活動を支援する目的でこのグループを立ち上げました。まだ始めたばかりの団体なので、県内の活動はまだこれからというところですが、今後はこちらの団体も国際交流民間団体としてTNJと連携しながら県内でのタイと日本の国際協力をメインに幅広く活動していく予定です。



▲TNJメンバーたち



▲デックタイグループの活動



▲職場の同僚たちと森戸さん（中央）

今回写真を提供してくれたのは、森戸泰光さん。平成18年3月から2年間、青年海外協力隊の陶磁器隊員として、中米のエルサルバドルの首都にある障害者自立支援生産協同組合の工房で指導にあたってきたそうです。現地の活動の様子と文化交流の様子を紹介してくれました。



地方の教会

地方都市には、必ず、教会、役所、公園の3つが真ん中にあり、そこから街なみが広がっていくという街づくりがされています。街は、スペインの植民地時代の趣を残すところが多く、味わいがあって、いくら歩いても疲れません。みんな気さくに話しかけてくれるので、道を歩いてるだけで友達ができます。地方に行けば行くほど、その国の本来の風景を見ることができるような気がしました。



友達と…

エルサルバドルは、四国ほどの大きさしかないので、全てが濃縮されたような国です。2年間で、アジア、アメリカ、ヨーロッパなど世界各国から来ている友達がたくさんできました。様々な国籍の人々と話すことで、世界の中の日本、またこれから僕たち日本人はどのように生きていくべきかなどということについて考えさせられました。

このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。
詳しくは、協会までお問合せください。（☎028-621-0777）

レポート Report

多文化共生啓発事業 ～「家庭でできるブラジル料理」～

平成20年度多文化共生啓発事業の第2弾として、講師と参加者が料理を通じて互いの文化交流を図ることを目的に、食文化紹介事業のブラジル料理教室「家庭でできるブラジル料理」を平成21年3月28日（土）とちぎ国際交流センターで開催した。

今回の講師はブラジル出身の石川アンナさん、本多エリザさん。家庭で簡単にできる料理ということでメニューはムケッカ（魚のココナツミルク煮）、ヴィナグレッテ（サラダ）、デザートとして石川アンナさんが作って来てくれたムース・デ・リモン（レモンムース）。

参加者は11名。最初にブラジルの料理講習会を行い、その後、自分たちの作った料理を試食しながら、自己紹介、料理の感想などを述べ、講師からブラジルへの移民の話や栃木で暮らすブラジル人の様子を話してもらった。

初めて作る料理のため、講師の指示に従い、共同作業で

進めた。輸入食材なども使ったせいか、多くの参加者が普段見慣れない材料にとても興味を持っていた。徐々に慣れてきた参加者と講師は和やかなムードで料理に取り組み、試食会ではみんな口々においしいという言葉をもらし、おしゃべりをしながら、ブラジル料理を味わった。その後、日本人がなぜどうやって太平洋を渡り、遠い異国ブラジルへ行ったのか、ブラジル移民史を地図で示しながら説明している講師たちの話を真剣に聞く様子が伺え、また現在、栃木県内にブラジル人が多く生活しているが、その様子を生で聞いて、多くの参加者が共感していた。最後に、質疑応



▲講師がブラジルの地図を指しながら説明



▲講師の指示に従いながら料理を作る参加者

答が行われたが、そこでもたくさんの質問が出た。終了後、多くの参加者から今後もこのような料理教室を開催してほしいという意見も出ていた。

Club lycée 「クラブリセ」 ☆もし外国人が困っていたら～TIAの外国人相談～

高校生のための国際理解クラブ「クラブ・リセ」の第46回ミーティングが平成21年3月14日(土)に「もし外国人が困っていたら～TIAの外国人相談～」というテーマでとちぎ国際交流センターで行われた。今回のゲストは、TIAの岡本英子(英語担当相談員)と本多エリザ(ポルトガル語担当相談員)。栃木県の外国人登録者数の順位は1位が中国、2位がブラジル、3位がペルー。TIAに寄せられる相談言語ではポルトガル語が最も多く、ついでスペイン語、3位が英語となっている。相談内容はビザ、労働、教育問題、健康保険の加入等様々な問題を抱えていて、厳しいものが多い。相談員はまず聞き上手でなくてはならず相談者の話から最善の解決方法をアドバイスする。今回参加した高校生4名は日本で生活する外国人がこのような悩みを持っているということは知らなかったようで、相談員の話を真剣に聞いていた。また相談内容についての疑問もたくさん聞いていた。



栃木県海外技術研修員帰国

栃木県が国際協力の一環として受け入れている3カ国4名の技術研修員が、平成21年3月12日(木)にそれぞれの国へと帰国した。帰国後は、日本で学んだ技術のノウハウを活かし、母国の発展に貢献するとともに、今後日本と母国との架け橋的な存在になるように期待されている。



「わいわい地球っ子クラブ」～ハロー♪アメリカ★～

小学生の国際理解のためのクラブ「わいわい地球っ子クラブ」の第26回がアメリカをテーマに、平成21年3月7日(土)にとちぎ国際交流センターで実施され、参加者は小学校3年生～6年生の16名。今回は、アメリカ出身で栃木県国際交流員のケント・マレンさんにご協力いただき、アメリカを紹介。まず、アメリカについてパワー・ポイントとクイズで紹介。正解者には飴をプレゼントということで子どもたちも必死。また、アメリカの遊び「ホットポテト」を教わり、ケント氏が作ったアメリカのデザート「プラウニー」を食べ、「ドリームキャッチャー」を作って楽しんだ。



国際協力への扉/道のり

「栃木県から世界へと出発しました！」

自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたいと望む方々を派遣するのがJICAのボランティア事業です。「現地の人々と共に」という言葉に集約されるこのボランティアは、派遣された国の人々と共に生活し、働き、彼らの言葉を話し、相互理解を図りながら、彼らの自助努力を促進させる形で協力活動を行っています。

20年度4次隊として派遣された6名の皆さん、派遣前の3月17日(火)に宇都宮市役所や栃木県庁、(財)栃木県国際交流協会への表敬訪問を行いました。

今後2年間、どのような国際協力活動を展開していくのかとても楽しみです。それではJICAボランティア6名のみなさんの抱負をお届けします。

<シニア海外ボランティア>

●鈴木裕之さん(ボツワナ／印刷) 足利市出身

久しぶりのアフリカです。真っ赤な大地に沈む夕陽をながめながら、ビールを飲んで来ます。じっくりと腰をすえて、できることをひとつひとつやってきたいと思っています。

<青年海外協力隊>

●松井真里子さん(ガーナ／村落開発普及員) 宇都宮市出身

ガーナの中で最も貧困層の多いアッパーウエスト州で、住民の健康改善プロジェクトの一環として農業技術をメインに活動してきます。ベストを尽くして頑張ります。

●関谷裕子さん(ボリビア／青少年活動) 大田原市出身

ボリビアの田舎町で、医療関係者と村人のネットワークづくりに励んで来ます。日本紹介や日本とボリビアのネットワークも作れたらと考えています。時差が13時間もあるボリビアと日本ですが、心理的には距離を縮めていきたいです！

●大橋香奈枝さん(ベナン／看護師) 日光市出身

西アフリカにあるベナン共和国のサケテというところで、母子保健領域で活動予定です。もともとアフリカで子どもたちのた

めの活動がしたかったので、アフリカ行きが決まってとても嬉しいです。現地の人々とコミュニケーションを図りながら、少しでも多くの人の役に立てるよう、コツコツと頑張ろうと思います。

●富山あすかさん(スリランカ／コンピュータ技術) 野木町出身
スリランカのダルカダウンにある教員養成学校で、ITコースの先生を目指す女生徒にコンピュータ技術を教える予定です。やりがいのある仕事だと思っています。

●千葉文美さん(エクアドル／テニス) 大平町出身

エクアドルの首都キトで中高生を中心にテニスの指導を行います。また、任地のストリートチルドレンの更生をテニスを通じて行いたいと思っています。テニスが好きということと元気は誰にも負けません。頑張ってきます！



▲TIAへ表敬訪問を行ったみなさん

TIA内JICA栃木デスク 知久志穂子 (☎028-621-0777)

第87回定期演奏会

栃木県交響楽団

2009年6月14日(日)午後2時開演(1時30分開場)宇都宮市文化会館大ホール



〈指揮〉
山下 一史

〈演奏曲目〉

- ワーグナー
「トリスタンとイゾルデ」
から前奏曲と愛の死
- ウェーバー
ファゴット協奏曲
- ブラームス
交響曲第4番



〈ファゴット〉
菅原 恵子

全自由席 ¥1,500円(前売1,200円) 電子チケットびあ 発売4月15日
お問い合わせ 栄響事務局 ☎ 028-643-5288

TIA Information Corner

平成21年度国際化推進事業の助成事業募集中!!

TIAでは、栃木県における国際化をさらに推進するために、「国際化推進事業助成金」があります。今年度は日本語指導事業に対する助成として下記のとおり募集しています。

●対象事業

平成21年4月から平成22年3月まで実施する事業。(既存事業も可)

○県内における在県外国人離職者やその子どもたちへの日本語指導事業(週1回以上)

○県内の学校における外国人児童生徒への日本語指導事業

●申請者の資格

○県内にある団体のうち日本語教室を開催しているまたは開催予定の団体で、教室の運営が明確なこと。

●申請締切り 6月30日(土)

●問合せ (財)栃木県国際交流協会

※詳細はTIAホームページでもご覧いただけます。

賛助会員募集 !!

(財)栃木県国際交流協会(TIA)では、賛助会員を募集しています。皆さまからの賛助会費は、TIAの様々な事業に使わせていただき、地域の国際化に役立っています。

会員の特典:

- TIA主催のセミナー等の受講料が無料
- TIA主催・共催等の各種イベントやセミナー等の情報提供
- TIAニュース「やあ!」を年4回送付
- 会員証の提示により指定店の旅行企画商品および海外旅行用品の割引
- ビデオ録画方式変換(海外↔日本)の無料サービス
- 団体賛助会員には、とちぎ国際交流センター利用の場合、予約は2か月前から先行受付(通常は1か月前より受付)

年会費:個人 3,000円
団体 10,000円
法人 30,000円

外国人のための専門相談のご案内

TIAでは、総合相談のほかに栃木県精神保健福祉センター、栃木県弁護士会、栃木県行政書士会の協力を得て、下記の専門相談を行っています。相談では医師、弁護士、行政書士の専門家が対応します。

外国人の方や外国人とのかかわりでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。相談は無料ですが、予約が必要です。

●精神保健相談

毎月第1・3火曜日 15:00~16:00

●法律相談

毎月第1火曜日 10:00~12:00

(祝日の場合は第3火曜日)

●入国・在留・国籍手続き相談

毎月第2水曜日 10:00~12:00

(祝日の場合は第4水曜日)

※場所:とちぎ国際交流センター

(精神保健相談は栃木県精神保健福祉センター)

※言語:日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語(ほかの言語による相談も可)

お問合せ(相談専用電話)

028-627-3399

(火曜日~土曜日 9:00~16:00)

総合相談:火曜日~土曜日 9:00~16:00

※TIA相談員が対応します。(予約不要)

財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄付金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

<人事異動のお知らせ>

事務局長の内山昭夫が退任し、鈴木一好が事務局長に就任。事務局次長兼総務企画課長が佐藤康夫から臼井行光に交替。

国際交流相談員が今野相談員からウイルソン相談員へ交替。

栃木県国際交流協会 事業案内 Tochigi International Association(TIA)

～とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室はどなたでも気軽にご利用できます～

■相談事業

在住外国人の生活にかかわる相談や県民の国際交流・国際協力にかかわる相談に、専門の相談員が対応

■機関紙の発行・情報提供

TIAニュース「やあ!」や在県外国人向け外国語情報紙の発行

とちぎ国際交流センター内には情報交換のためのメッセージボードの設置

■各種イベント・講演会

国際交流促進や国際協力意識高揚を目的とした各種イベントや講演会の実施

■TIA協力者バンク

ホストファミリーバンク、インストラクターバンク、ranslateバ nkの運営

■とちぎコミュニケーションネットワーク(TCN)

在県外国人のネットワーク。イベント等の情報提供、国際理解講座等への協力

*この他さまざまな事業を行っておりますので、お気軽にお問合せください。

*会議室等の施設利用についてはご相談ください。(国際交流、国際協力などの会議等)

新たな発見 ブラジル・エコ・ツアー

日本列島がすっぽり入る大温帯「パンタナル」
釣、動物観察など7、8月が最適



ちらちらと可憐に飛ぶ
ニンファティウム カイカウ

ツニブラトラベル株式会社



東京都中央区八重洲2-7-7旭ビル〒104-0028

Tel 03-3272-2865 Fax 03-3271-5319

E-mail sato@tunibra.co.jp

<http://www.tunibra.co.jp>

大阪・名古屋・浜松

サンパウロ・リオデジャネイロ・イグアス・ペレン・マナウス

東京都知事登録旅行事業 3-3906 日本旅行業協会正会員

TIAご案内図



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
住所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
FAX 028-621-0951
業務時間 8:30~17:30
休館日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日